

NEWS!

Vol.45-1
No. 219
令和8年新春号
編集・発行
松浦機械製作所

謹賀新年



明けましておめでとうございます。

昨年は、年初に米国でトランプ大統領が就任し第2次政権が始動、4月から突如として相互関税導入問題が発生し、世界経済に大きな影響を与えた一年でした。工作機械はそれまで関税がゼロだったものが、日米二国間交渉の結果、15%の相互関税が課されることになり、さらにマシニングセンタが鉄鋼・アルミ関税の対象となり追加課税が実施されました。現在も工作機械が分野別課税の対象として検討されており、今後も関税動向については注目が必要です。しかしながらそのような状況下でも米国市場は防衛、宇宙、AIデータサーバー関連ハイテク産業の需要から活況を呈しており、今年も引き続き強含みで推移するものと思われます。

また日本では、秋に高市政権が発足し、初の女性首相が誕生しました。ほどなくして四半世紀近く協力体制にあった公明党が自公連合を離脱し、自民党は維新の会との新たな連立に舵を切りました。従来からの外交面での課題に加え台湾有事発言などで緊張感が増す中、政府および日銀には国内景気の活性化とインフレ対策の狭間で揺れる金利政策など難しい舵取りが求められています。政策金利は1月の利上げ後据え置きが続いており、当面は慎重な判断が続くものと思われます。外国為替相場は昨年の4月から円安トレンド継続してきましたが、今後の推移については注意深く見守っていく必要があります。

日経平均株価は初の5万円台に到達し頼もしい状況でしたが、一部のAIデータサーバー関連銘柄が牽引役となった結果の押し上げであり、全般的な業種の株価の押し上げには至っていないのが実情です。今後より多くの業種へこの流れが広がることを期待したいところです。

昨年の工作機械の世界市況は、外需が牽引役となりました。日本工作機械工業会の目標年間総受注額1兆6,000億円に対して10月末時点で1兆3,087億円弱となっており、目標達成は微妙なところとは言え月平均1,000億円超えていて底堅く推移した一年でした。

そんな環境下でマツウラは、主要展示会のドイツ・ハノーバーで開催されたEMO2025、ポートメッセなごやで開催されたMECT2025メカトロテックジャパンに最新鋭機**MX-520T PC7**を出展しました。旋削機能を付加し更なる工程集約を目指した5軸複合マシニングセンタ**MX-520T**はおかげさまで各市場から好評を博しており、その最大加工ワークサイズはそのままに従来のフロアパレットシステム**PC4**と同等のフロアスペースのタワーパレットシステム**PC7**を開発、フロアスペースはそのままにパレット枚数を増やすことで、お客様の更なる自動化・無人運転の要求に応えました。

昨年、追加設備投資を行った武生事業所は、1年を経て安定稼働の段階へ移行することができました。本年はさらに、市場ニーズの変化にリニアに対応できる生産の柔軟性と出荷効率の最大化を追求して参ります。精度・品質・信頼性の一層の向上を図り、次世代を見据えた生産基盤の確立に尽力致す所存です。

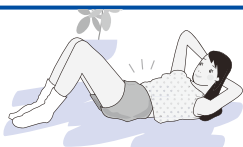
本年も格別のお引き立てを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

株式会社 松浦機械製作所

代表取締役社長 松浦 勝俊

日本のヘソ

福井 No.215



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第215回目は「福井県立大学恐竜学部」の話です。

2025年4月、福井県立大学に新しく「恐竜学部」が開設されました。日本で初めて恐竜を学問の中心に据えた学部であり、古生物学や地質学、古環境学など、地球の歴史を多角的に学べる点が特徴です。学部は「恐竜・古生物コース」と「地質・古環境コース」の2コースに分かれ、1学年の定員は30名。1年次は永平寺キャンパスで基礎を学び、2年次からは福井県立恐竜博物館に隣接する勝山キャンパスで専門的な教育を受けます。

福井県に恐竜学部が誕生した背景には、全国有数の化石産地としての歴史があります。勝山市の発掘調査では複数の新種が発見され、恐竜博物館は世界的にも高い評価を受けています。こうした「恐竜王国」としての地域資源を教育に結びつけ、研究と現場が直結した環境を整えた点が大きな特長です。

学生は発掘調査などのフィールドワークだけでなく、CT解析や3Dモデリングなど最新技術を活用した研究にも取り組みます。将来の進路も研究者や学芸員に限らず、観光・地域振興、デジタルコンテンツ制作など幅広い分野に広がっています。

恐竜が好きな方はもちろん、自然科学や地球の歴史に興味のある人にとって、新しい学びの可能性が広がる学部といえるでしょう。

ユーザーを訪ねて No.203

株式会社 丸 範 コンパクトなMX-420 PC10で

今回のユーザーを訪ねては、山形自動車道山形北インターチェンジから車で約5分の距離にある株式会社丸範です。取材には、創業者で取締役会長を務める伊藤隆様と代表取締役社長を務める伊藤洋輔様に対応頂きました。

同社は1978年に伊藤会長が同氏の奥様と2人で有限会社丸範製作所として創業。社名の由来は奥様の名前の1文字である「範」に丸で囲った様子から命名されています。創業当初は、削ることができるものは何でも受ける精神で賃貸のプレハブにて部品加工業を営んでいました。以降、金属部品加工において顧客の信頼を得るとともに、設備増強や工場増設を繰り返し、現在では8台の5軸マシニングセンタや13台の立形マシニングセンタ、3台の横形マシニングセンタを保有されています。

伊藤社長は高校卒業後、1994年に同社へ入社して某機械メーカーに出向し、NC課、機械課、組立課と製造職を経験後、2018年代表取締役社長に就任しました。



▲ 会社外観

事業内容：鉄道関連・航空機関連などの金属部品加工

同社では、主に鉄道や航空機関連の金属部品加工を行っています。鉄道関連については、日本国内の在来線や新幹線、さらには海外に輸出される新幹線の内装部品を手掛けています。鉄道関連の部品を手掛けることについて伊藤会長は次のように話します。

「鉄道の内装部品は人が直接触れる為、加工面の小さなバリも許されません。お客様の厳しい基準をクリアすることで当社の技術力を向上させてきました。

また、鉄道関連の部品を手掛けることの良い点は、社員が自分のつくった製品を身近に感じることができるということです。自身が手掛けた品物が世の中で活躍していることを実感し、モノづくりを好きになってさらに良い品物を作ろうとする思いを持ってもらいたいですね。」



▲ 同社で加工された輸送機内装部品など



▲ 伊藤会長(左)と伊藤社長(右)

2010年にはJIS Q 9100を取得し、航空機関連の金属部品加工を開始しました。JIS Q 9100は航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格であり、当該産業に参入する為には必要不可欠な認証規格です。

「JIS Q 9100の規格は1年間赤字覚悟で認証取得に取り組み、承認機関BSKより取得が認められました。認証取得に際し、品質マニュアルを構築するにあたり、当社のモノづくりのノウハウを明文化し、品質に対するエビデンスを付与する流れを作ること大変苦労しましたが、認証を成し遂げたことで組織的な力量が向上したと思います。認証取得以降は、巨大機エアバスA380のビジネスクラス座席80席などを手掛け、航空機関連の内装部品についても生産を行うようになりました。」と伊藤社長。

率先垂範

同社の社是として、「率先垂範」、続けて「1. 丸く、明るく、健康で」「1. 模範を示す製品を…」「1. 速やか、無駄なく、正確に」を掲げています。この社是を制定した伊藤会長は次のように説明します。

「社是の率先垂範には、人に先んじて模範となることを自然にやることができる、という人材を育てましようという意味が込められています。また、「和を以て貴しと為す」の言葉のように、全員が和となり、まとまらなければ率先垂範を行うにしても無駄になってしまう為、一番大事なことを後に続く言葉で示しています。そして、社員全員が良い品物をつくろうという思いに繋がるよう、この社是を制定しました。」

MX-420 PC10の導入

同社では2023年にMX-420 PC10を設備しました。導入検討にあたっては、マツウラのYouTubeチャンネルにある動画をご覧になったそうです。同機種の選定について伊藤社長は次のように話します。

「YouTubeに投稿されているMX-420の関連動画を見

手軽に無人運転を導入

て、この機種に興味を持ち始めました。チャンネル内にある他の動画も参考にし、マツウラのマシニングセンタについて理解を深めることができました。また、マツウラに関して工具メーカーなどに評判を聞くと、良い評判が多くありました。そのうえで、機械を設置できるスペースが限られていたことや、夜間無人運転を行いたかったことから、パレットチェンジャーが装備され、かつコンパクトな設置スペースである**MX-420 PC10**の設備を決定しました。」



▲ 設備された**MX-420 PC10**

MX-420 PC10の使い勝手

同社が設備する**MX-420 PC10**には、オプション装備として**PC10**のパレットチェンジャーの他、予備パレット10枚と60本仕様のオートツールチェンジャーを搭載しています。当機種の使い勝手について、オペレーターを担当する福士さんと佐藤さんは次のように話します。

「予備パレットを持つことによって、段取作業が楽になりました。1度段取をしてしまえば、治具を付けたままパレットごと保管できるため、リピート品について迅速に対応することが可能となりました。そういった意味では、予備パレットの枚数に関してはもっと多くても良かったと感じています。また、当社では5軸加工を最大限活用する為に工夫した治具の製作に注力しています。あらゆる方向から加工できるように治具を設計し、効率化に繋がっています。」

「パレットチェンジャーについては、他社の機械と比較してワーク交換速度が速く、動作音も静かな点が良いです。マツウラのパレットは他社製と比較して軽くできており、パレットチェンジャーのドアが大きく開口する為、簡単にパレットを交換できる点も魅力に感じています。」

「加工精度においては、常に高い精度で部品加工を行うことができ、精度の安定性に対して信頼できるマシニングセンタだと感じています。」

株式会社丸範 概要

本 社 〒990-2211 山形県山形市十文字葦窪北3440
TEL: 023-686-4014
FAX: 023-686-2238
代 表 者 取締役会長 伊藤 隆
代表取締役社長 伊藤 洋輔
創 業 1978年8月
従業員数 22名
事業内容 ・精密加工部品の一貫受注生産
・航空、鉄道の内装品加工および組立

「**MX-420 PC10**の扱いやすさに関しては、万が一、機内でワーク等が挟まってしまふなどの異常が発生すればアラート音とともに機械も即座にストップする為、ミスが起きにくく安心して利用することができます。操作の際には、次の操作について画面上に指示が表示される点や、機内の切粉を見つけ易い・除去しやすいといった点など、総合的に使い勝手の良い機械です。」

今後の展望について

同社の今後について、伊藤社長は次のように語ります。

「将来的には社員が過ごしやすい環境を整備するべく、会社の体力をしっかりと蓄えていきたいと思っています。設備投資につきましても、お客様は当社が手掛ける品物を見て当社を選んでいただいていますので、品質や技術を高める投資を進めていきます。」

社業としましては、既存のお客様を引き続きしっかりと対応していくとともに、東北に限らず全国から金



▲ 同社で加工されたワーク

属部品加工でお困りのことがあれば、新たなお客様からぜひお仕事をお受けしたいと考えています。当社は特にアルミ部品の5軸加工を得意としておりますので、お気軽に株式会社丸範までご相談いただけますと幸いです。」

* * * * *

同社では福利厚生の一環として、忘年会は北海道札幌市など会社から離れた地で行うそうです。これは会社の方針として、人との繋がりを大切にしたいということや、旅行の際に鉄道や航空機に触れて自身の手掛ける製品が世の中で活躍していることを実感してもらいたい、という想いがあるようです。

取材中も社員の皆さん同士が和気あいあいとされており、皆さんが家族のように一体感をもってモノづくりに取り組まれている印象を受けました。人が直接触れる部品を加工している企業だからこそ、人を大事にしていることが伝わりました。

今回のインタビューと工場風景の動画は、記載のQRコードを読み取り、ご視聴頂くことができます。また、当社ホームページでも公開中です。ぜひご覧下さい。



マツウラYoutubeチャンネル

キーマンに訊く ～営業本部～

業務の中核を担うシニアマネージャー、マネージャーに現在力を入れて取り組んでいることや新規にこれから取り組むことについてインタビューをしています。

本号では製品の販売を行う営業本部にインタビューを行いました。2025年10月に開催されたメカトロテックジャパン2025の様子も併せてお伝えいたします。

メカトロテックジャパン2025 開催レポート

2025年日本最大級の工作機械見本市 MECT 2025 10.22^{WED}-25^{SAT}

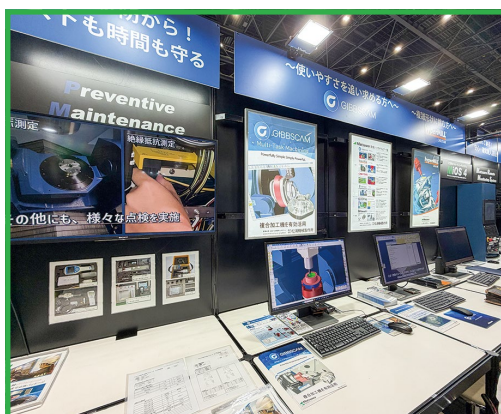
メカトロテック ジャパン 2025 10:00-17:00 最終日25日(土)は
MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN @ポートメッセなごや 16:00まで

今回のメカトロテックジャパン2025において、当社では「もっと! 工程集約、簡単無人運転」をテーマにハード、ソフト、サポートなどトータルソリューションにてお客様へマツウらしいモノづくりの提案を行いました。



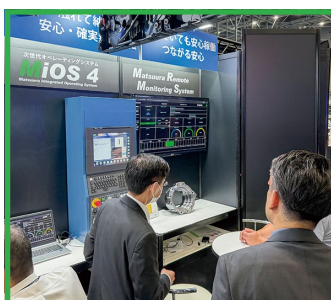
MX-520T PC7

実機展示の5軸複合マシニングセンタ **MX-520T PC7**の前にはブースへ来場されたお客様が見学しており、最も注目度の高い展示物でした。機内では最大加工径φ520に近い円筒形のハウジングを旋削とマシニングの加工を用いて実演。コンパクトな機体ながらも工程集約を実現できることをPRしました。また、**PC7**は従来の**PC4**と同等のフロアスペースで3つのパレットを追加できるとして、現**PC4**ユーザーの方も機内を覗き込み、その構造に関心を持たれていました。



GIBBSCAM

最新バージョンとなるGIBBSCAM **2025**を実演展示し、来場された方々にGIBBSCAM最大の特徴である使い易さを体感頂きました。特に**MX-520T**の複合加工に対する親和性の高さをPRし、複合加工は操作が難しいと敬遠されがちなイメージを払拭しました。



Mios 4

グラフィカルなデザインで直観的な操作が可能な**Mios 4**をシミュレーターを用いて体感いただきました。リリース予定の対話式機能をいち早く展示し、複雑な加工もますます簡単な操作で実現することを紹介いたしました。



プレゼンテーションコーナー

「工程集約にこだわったらこんなことができました」のテーマで、複数の機械、複数の段取で行わなければならないワークを**MX-520T**を使用すればワンチャッキングで効率よく加工できることを3分間で解説。1度立ち寄れば、マツウラブースの全てが詰まっている怒涛の情報量でした。

営業管理 / 国内営業

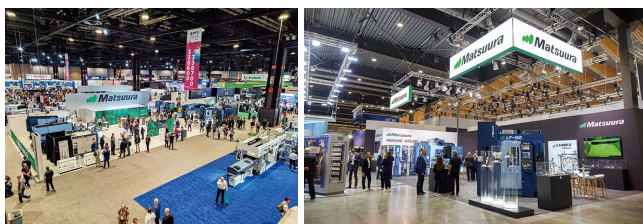


展示会でのプロモーション

昨今の展示会においては、マツウラをまだ知らない新しいお客様との出会いの場に重点を置いて展示内容を企画しています。

当社は開発、製造、販売、アフターサービスまで一貫して自社で行っており、かつ製品としてもハードとソフトを扱っている強みを活かしたコンセプトで展示を行っています。直近のメカトロテックジャパン2025では「もっと! 工程集約、簡単無人運転」というテーマを掲げ、複雑な5軸複合加工もマツウラに任せれば安心ということを来場された方へお伝えしました。

今後もマツウラならではの“こだわりの製品”を、より分かりやすくお伝えすることをモットーに、営業活動・販売促進活動に取り組んでまいります。



オンラインによるプロモーション

当社のYouTubeチャンネルを始めとしてSNSなどのインターネットを活用したプロモーションにも力を入れています。MECTやJIMTOFといった大型展示会の際には、当社ホームページ内で展示内容の見どころ紹介や開催後の出展レポートなどを盛り込んだ特設ページを設置し、展示会に参加された方もそうでない方も楽しんでいただけるようにしています。

2024年からはメールマガジンの定期配信を行っており、マツウラの最新情報はもちろんのこと、メルマガでしか知れない情報なども発信しています。

その他、当社ホームページよりカタログ請求などでもできますので、ぜひマツウラのホームページをご覧ください。



取締役 松浦 悠人



企業が長い年月をかけて成長していくと、“知の探索”が行われなくなることによって、イノベーションが起きにくくなるというジレンマが経営学では指摘されています。つまり、リスクやコストをかけてまで未知の領域に踏み込む行動が敬遠されるようになる。ここで重要なのは、これは単なる「今の若者は…」といった個人の意識の問題ではなく、組織行動の仕組みに起因しているという点です。

たとえば、よくある「事前に費用対効果を証明せよ」という議論。これは成功を予測することが前提になっていますが、未来を正確に予測することは非常に難しいという現実があります。現在市場で売れている製品も、その成

功は振り返って初めて理解できることが多いですが、先人たちも不確定要素を排除したうえで行動を起こしていたわけではないでしょう。さらに組織内で分業が進むと、責任の範囲が明確に分かれる一方で、「根拠を出せ」「費用対効果を示せ」といった“否定しにくい正論”が簡単に言えるようになります。その結果、調査や資料作成、社内調整など、限られた時間とリソースの中での負担が大きくなり、「面倒だから提案自体をやめよう」となる構造が生まれる。このようにして、挑戦への意欲が徐々に抑えられているのかもしれない。

かつての経営学では、「人間はすべての選択肢を把握し、常に合理的な意思決定を行う」という前提がされていました。しかし、近年の実証的な研究では、①人間の認知能力は限られ、すべてを把握するのは困難②経営環境の変化は早く、未来の正確な予測は不可能、という前提に基づいた現実的な理論へとシフトしています。「単に成功を予測することを求めるのではなく、不確実性の高い環境で、どうやって挑戦を促す組織を作っていくか」という視点で仕事の進め方を再考する必要がありますね。

営業 & マーケティング

当部署の特徴

営業&マーケティングは、2025年3月に新設された新しい組織です。これまで当社では、国内営業と海外営業を別々の部署として運営していましたが、いずれも「製品をお客様へ届ける」という目的は共通していました。そこで、国内・海外それぞれの強みを掛け合わせることで、より高い効果を生み出せると考え、両部署を統合し新たな部署としてスタートしました。統合後は、海外で培った成功事例を国内での課題解決に活かすなど、双方の知見を活かした相乗効果が生まれています。これにより、営業活動の質向上と業務効率化がさらに進み、お客様への提案力も一層強化されています。

柔軟なソリューション提供

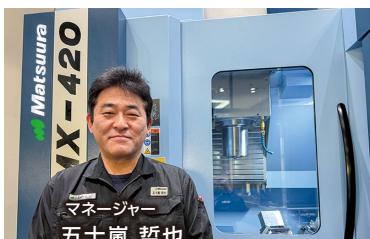
当社の強みの一つとして、製品の高いカスタマイズ性が挙げられます。お客様のニーズに応じて、長時間無人運転システムの設計・開発や、既存ラインアップ機種への特殊仕様の装備など、柔軟に対応しています。多様なカスタマイズに迅速に応えるため、機械の仕様をあらかじめ標準化し、装備品メーカーへ事前に情報を共有することで、納期が長期化しないよう工夫を行っています。また、営業担当者がお客様のご要望を調査・収集し、新機種の開発にも活かしています。営業がお伺いした際には、ぜひ皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。



当社の販売について

当社では、5軸機に多面パレットチェンジャーを装備したモデルに注力しており、自動化・無人運転への適応力や高精度加工を強みとしてお客様へご提案しています。一方で、競合他社製品と比較して価格が高いとのご意見をいただくこともあります。当社としては、価格差に見合う価値をご理解いただくことが重要であると考えています。カタログでは伝えきれない、当社のものづくりへのこだわりや機械のつくり込みについては、工場見学を通じて実際に体感していただけるよう取り組んでいます。マツウラは、5軸機と多面パレットチェンジャーを組み合わせたシステムを30年以上提供してまいりました。自動化・無人運転の実現において最も重要なのは「機械を止めない工夫」です。当社には、より止まらず、安心して長時間運転できるためのノウハウが蓄積されています。これらの強みを活かし、お客様が抱える課題に対して、価値に見合う最適なソリューションを提供してまいります。

アプリケーションサポート



マツウラスクール

マツウラのユーザー様を対象に、当社のマシニングセンタをより効果的にご利用いただく為の講座を毎月1講座開講しております。加工・プログラミングスキルの習得レベルに応じて選択いただけます。NCプログラム作成の基本を学ぶ「基礎コース」、高速・高精度加工の知識や設定方法を習得する「高速・高精度コース」、5軸マシニングセンタの基礎から各機能を学ぶ「5軸加工コース」、そしてマクロの基礎から固定サイクル作成までを学ぶ「マクロコース」をご用意しています。

開講スケジュールに関しましては8ページに記載しておりますので、ご希望の方は担当営業もしくはお近くの営業所までご連絡ください。

コース	目的
基礎コース	NCプログラムを初めて作るお客様を対象とします。 Gコードの基礎から、図面を元にNCプログラム作成までを目指します。
高速・高精度コース	高速・高精度加工を学ぶコースです。 マシニングセンタでの加工経験者が対象で、高速・高精度加工の基礎知識から、工具・加工条件の設定方法、カッターパスの出し方等を学習します。
5軸加工コース	マツウラの5軸マシニングセンタユーザー様を対象とします。 5軸加工の基礎から各機能の説明、カッターパスの紹介等を学習します。
マクロコース	マクロプログラム習得のためのコースです。 NCプログラムが理解できる方を対象とします。マクロの基礎から固定サイクル作成までを学習します。

CAD/CAM 販売 & サポート

当部署の特徴

CAD/CAM 販売&サポートはGIBBSCAMをはじめとするマシニングセンタ等の工作機械を活用するには欠かせないソフトウェアの販売及びアフターサービスを行っております。

CAD/CAM 販売&サポートの始まりは、高速加工マシニングの登場でした。マツウラは1989年に高速加工が特徴の立形マシニングセンタ**FX-5**を販売開始。従来機の3倍の速さで加工ができる反面、手組みによるプログラミングでは追いつけなくなりました。そこで当時、簡単で使い易い特徴をもつCAMであるGIBBSCAMを海外駐在員の勧めにより社内にて試験導入した後、本格的にソフトウェアを販売開始したことがきっかけです。

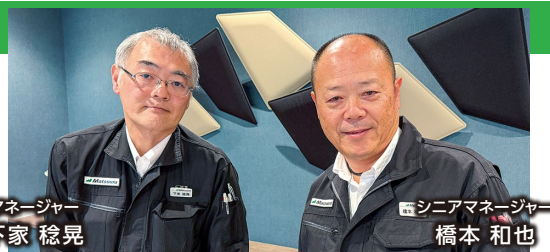
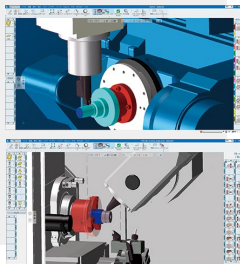
以来、簡単に扱えるGIBBSCAMの他、複雑な同時5軸加工が可能なhyperMILL、金型加工に特化したCAM-TOOLとシミュレーションソフトVericutなどお客様のニーズに合わせたご提案ができるようソフトウェアを取り扱っております。

GIBBSCAMの特徴

マツウラでは1991年よりGIBBSCAMを取り扱い始め、累計で販売シート数は約2000シート、ユーザー数は1000以上の方にご利用いただいております。

GIBBSCAMは、1984年に使い易さを重視したCAMソフトとして開発、販売されました。直観的かつ視覚的な操作性を持つApple社製のPC:Macintosh用のソフトウェアでリリースされ、同PCの持つ強みを活かし、他社のソフトウェアにはない操作性の良さが最大の特徴です。

「Powerfully Simple. Simply Powerful.」のコンセプトのもと、初心者の方でも簡単に扱える操作性と様々な加工に柔軟に対応できる点が評価されています。最新バージョンではAI機能の実装により、更なる機能性・利便性の向上が実現しています。



マネージャー
下家 稔晃

シニアマネージャー
橋本 和也

機械加工製造業をサポート

当部署では機械加工製造業(モノづくり)を支援することを目的として、様々なサービスを提供しています。

ユーザーの皆様はソフトウェアをより効果的にご利用いただくための講習では、お客様のもとへお伺いするオンサイト講習で行っており、普段から業務で扱う環境にて、弊社のスタッフがご困りごとなどに丁寧に対応いたします。また、メンテナンスサービスにご加入中の場合は、オンラインによる講習も対応しています。

また、CAMソフトをより有効活用する為に不可欠なポストプロセッサの作成も自社スタッフにて行っており、マツウラ製はもちろん、他社製の工作機械に対応したポストプロセッサを提供しています。

MTM(マルチタスクマシニング)対応

近年の省力化などのニーズの高まりに合わせ、工作機械は複数の機能を持ち、多種多様な加工ができる:マルチタスクマシニングを利用されるケースが増えてきました。

GIBBSCAMのMTMに対する取り組みとして、マツウラが販売する**CUBLEX**シリーズや**MX-520T**といったマシニングセンタベースの複合加工機はもちろんのこと、旋盤工機メーカーとタイアップし、旋盤ベースの複合加工においても柔軟に対応することで、複数の主軸や刃物台を持つ加工機にも柔軟に対応できます。

お客様とともに発展すべく、今後も幅広いニーズにお応えしてまいりますのでどうぞご期待下さい。

シングルorダブル 日本の良さ



社長 松浦 勝俊

昨年は、コロナもすっかり落ち着いて、海外ディーラーの団体客の来社が一年を通して多くありました。これは、各ディーラーが既存ユーザーや将来有望な顧客候補を連れ立って来日し、朝から一日福井でじっくり弊社を見学、夜は歓迎食事で懇親を深め更に近い関係を構築、二日目以降は京都をメインとした観光をパッケージにしたツアーの実施を計画的に働きかけた結果でもあります。海外からだ参加者は出入りで一週間程仕事を空けることになり、この忙しいご時世中々重い腰を上げていただくのは難しいのですが、これこそ絶好の機会と捉え、皆で期待値以上の良い印象を持たれるようおもてなしの心で精一杯頑張ってお応えします。毎回「思っていた以上に忘れられない素晴らしいツアーになった」とのお褒めの言葉をいただき、更にマツウラと日本のファンを増やそう努力しています。

参加された皆さんは、加工から組立までこだわったもの

づくりの工程をじっくり見学していただきます。特に組立工程のキサゲや芯出し作業をはじめ、普段は見られない機械が完成していく各ステージの作業や状態を詳細な説明を受けながらゆっくり時間かけて興味深く見入ることができ、隅々まで手を入れて丁寧につくりこまれていること、成る程これがマツウラなんだと実感していただいております。その裏付けとして、きれいに整理整頓された工場環境や機械のつくりこみに真摯に向き合っている姿、またマツウラだけではなく日本人が持っている親しみやすく礼儀正しい性格、相手を敬う心、自然豊かで治安が良く清潔な街並み、諸外国で既に忘れられてしまった人を思いやる姿勢など、「社会性のある文化」が日本に息づいていることにとても感心していただけます。

あるお客様が「今回のツアーで理解できたこと、それは「騙される者」と「騙す者」の記事です。我々は「騙された方が悪い」という風潮・通念が普通になっているのに先進国の中で日本は「騙す方が悪い」という真つ当な文化が残っている国だとの記事を読んだことがあって、日本に来てなぜそのように息づいているのかを理解できたと思う」と言われました。是非とも日本の良さをこれからも大事にしていきたいものですね。

お知らせ

1 2026年度 松浦機械製作所暦

(■は休日)

1	2	3	4
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
5	6	7	8
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
9	10	11	12
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2 2026年度マツウラスクール開催日程

開催予定月	日 程	スクール内容
1 月	13日(火)～16日(金)	基礎コース
2 月	17日(火)～19日(木)	5軸加工コース
3 月	10日(火)～12日(木)	高速・高精度コース
4 月	7日(火)～ 9日(木)	5軸加工コース
5 月	19日(火)～22日(金)	マクロコース
6 月	9日(火)～11日(木)	5軸加工コース
7 月	7日(火)～10日(金)	基礎コース
8 月	4日(火)～ 6日(木)	5軸加工コース
9 月	8日(火)～10日(木)	高速・高精度コース
10月	6日(火)～ 8日(木)	5軸加工コース
11月	10日(火)～13日(金)	マクロコース
12月	8日(火)～10日(木)	5軸加工コース

※お申し込みは各営業所までお願いします。

※日程や内容は予告なく変更となる場合がございます、お申し込みの際にご確認ください。

3 LUMEXで造形したフクイラプトルの頭骨を福井県立恐竜博物館で展示



マツウラは福井県立大学恐竜学部と共同で **LUMEX Avance-60** を用いてフクイラプトルの頭骨のレプリカを製作しました。

11月7日(金)福井県立恐竜博物館にて、製作したレプリカを初披露し、その様子をテレビや新聞等の各種メディアにて取材いただきました。

フクイラプトルは福井県で発見され、日本国内で発見された肉食恐竜としては初めて全身骨格が復元された恐竜です。頭骨のレプリカはアルミ合金の粉末をレーザーで焼き固め、約90時間で製作しました。大きさは幅600ミリメートル、高さ450ミリメートルで重さは約10kgです。骨表面の凹凸や歯の1本1本まで忠実に再現されています。

レプリカはマツウラが福井県立大学恐竜学部へ寄贈し、福井県立恐竜博物館3階の同学部オープンラボにて展示されていますので、精巧に再現されているレプリカをぜひご覧ください。

4 メカトロテックジャパン 2025 学生向け活動



メカトロテックジャパン2025に2026年新卒採用内定者を招待いたしました。会場内の各ブースを見学し、工作機械業界の規模感を体感いただきました。同展示会と併催の学生向け企画「工作機械トップセミナー」では、工作機械メーカーと学生の交流会にて企業説明ブースを出展した他、セミナーでは松浦社長が基調講演に登壇し、「選ばれる理由にこだわる工作機械のものづくり」と題して学生に工作機械メーカーならではの醍醐味や若い世代に求めることなどを伝えました。

本号の書き終わり

* 11月度の工作機械受注額は1,363億円(前月比95%)と、前月比では3か月ぶりに減少したものの、前年同月比では5か月連続で増加となりました。内需は315億円(前月比88%)と、前月比で2か月連続の減少、320億円を下回り、2025年内(12月除く)で最も低い受注額となりました。外需は1,048億円(前月比123%)と前月比で3か月ぶりに減少しましたが、前年同月比においては14か月連続で増

加しています。外需比率は77%と、過去最高を記録しました。

* 2025年は、組立業務を武生事業所へ集約し、本格稼働を迎えた元年となりました。大型機組立に特化したD工場と、複数工程にまたがる主軸組立をスムーズに行えるC工場という新たな2つの工場では、初年度ながら生産が順調に進み、取り組みの成果として生産量も増加しています。また、福利厚生の一環として新設した厚生棟のカフェテリアは、社員から高い評価を得ています。手頃な価格で温かい食

事が楽しめることに加え、明るく落ち着いた雰囲気的空間であるため、多くの社員にとって憩いの場となり、事業所全体の雰囲気向上にもつながっています。今回の組立業務の集約は、武生事業所がアイ・エム・エヌ株式会社としてスタートしてから約40年の歴史の中でも、最も大きな変化の一つです。今後も人材育成の強化や最新技術の積極的な導入を進め、お客様により良い製品をお届けできるよう、一層の努力を続けてまいります。

* 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。